

楠まちづくり新聞

つながる会
発行
会長 玉崎和実
事務局 白井春夫
広報部 高石正憲

楠小学校区つながる会

安全・安心で助け合える地域の絆づくり



松ヶ丘連合



あかしあ台



桐ヶ丘中央



消防車による訓練案内



南貴望ヶ丘パークホームズ



楠町



貴望ヶ丘38連合



南貴望ヶ丘



消防団第3分団



炊き出し班



木戸西町3-15

自主防災会訓練報告

第四回防災訓練を12月9日に大阪暁光高校の運動場および総合館内で実施しました。

午前8時30分に、中央構造線断層帯を震源とする巨大地震が発生し、市内でも震度6強を記録したことを想定して訓練を開始しました。



訓練参加者による避難所受付



外部実務経験者による講演

新たな試み

今回、二つほど新たな試みに挑戦しました。一つは、「避難所運営マニュアル」に沿って、受付業務を試行しました。



慣れない手つきで大根を切りそろえます



早朝の寒空の下での調理となりました

高校生の活躍

今回、大阪暁光高校の生徒さんに幾つか作業をお願いしました。一つは、炊き出し用「汁」の具材準備をお願いしました。避難所での



作業とは常時この様な環境の中で行われるであろうといった体験をして頂きました。二つ目は、災害に対する日頃からの心構えや準備について、さらに被災し行動する際に注意すべき点などを丁寧に分かりやすく総合館内で五名の高校生に説明してもらいました。

アンケート結果

参加自治会（町会）はさのせいだけでなく本当13団体で百八十五名、その他団体が百二名、総勢二百八十七名の方が参加されました。

アンケート用紙への記入をお願いし、現在その集計結果が出ています。回収されたのは百五十枚で、男性がやや多めの参加です。六十歳代と七十歳代の方が半数近くを占めており、近所にお住まいの方と一緒に参加されていました。

訓練内容については、高校生の発表に高評価が付いています。「まいごと汁」がおいしかったとの言葉がありました。寒いので、防寒用に敷いておいたのですが、訓練当日はかなり冷え込みましたので、総合館内での講演会は寒かったとの回答が多かったです。

さらに試みとして講演会をメインにし実技（応急手当、患者搬送、バケツリレー等）は行いませんでしたので、少し物足りなかつたとの意見もありました。

次の防災訓練はこれらの意見を反映させて計画します。

